資料２

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2023年9月11日
北海道電力株式会社

ID	審査項目		通しNo.	内容	作業項目における作業順序（スケジュール）
1	基準津波の策定	基準地震動の策定	2	策定した基準地震動の妥当性	資料作成 ▼ 説明期間 ★ ▼ 説明期間 ★ ▼ 説明期間 ★ 資料作成 ▼ 説明期間 ★
2		基準地震動の年超過確率	3	年超過確率の参照	資料作成 ▼ 説明期間；検討／資料作成 ▼ 説明期間 ☆
3		基準津波の年超過確率	11	年超過確率の参照	検討／資料作成 ▽ 説明期間 ☆
4		影響評価	15	敷地における降下火砕物の層厚評価	検討／資料作成 ▼ ☆；検討／資料作成 ▽ 説明期間 ☆
5	地盤斜面の安定性		18	新設防潮堤に関係しない断面の評価結果	検討／資料作成 ▼ 説明期間 ☆
6			19	新設防潮堤の形状・構造を踏まえた新設防潮堤を含む断面の評価結果	検討／資料作成 ▽ 説明期間 ☆
7	耐津波設計方針		21	耐津波設計に係る解析工程	解析モデル作成・入力津波解析（平面二次元解析）※５；津波の流向・流速評価及び漂流物解析　※５；入力津波解析（管路解析）；浮遊砂濃度解析
8	プラント側審査の主要な説明項目	耐震・耐津波設計方針以外	23	耐震設計方針及び耐津波設計方針以外の審査項目の審査中断以降の反映状況	
9				DB・SA関連（地震・津波の反映，自主的設計変更，他社審査知見反映）バックフィット案件	
10				主要な説明項目と想定しているもの	
11				地震・津波側審査のプラント側審査への反映事項、比較表や他社審査会合指摘事項から抽出した事項	
12–15				DB 内部溢水（第9条）	屋外氾濫解析（防潮堤線形更新）；資料作成；説明期間 ▼ ①1 ①2 ▼② ▼②▼ ★
16–18				共通（1.0.2（保管アクセス）（1.0/第43条）アクセスルートに係る事項	全体方針（アクセスルート設定の考え方，地震による影響評価方針）；資料作成；説明期間 ▼ ①×2 ▼② ▼ ★；地震による影響評価方針（斜面の安定性評価）；資料作成 ▼①；説明期間 ▼ ② ▼ ★；説明期間 ▼ ① ▼ ② ▼ ★；地震による影響評価（周辺構造物の耐震性評価，周辺斜面の安定性評価，地盤の液状化評価等）；地震影響評価結果（周辺構造物の耐震性評価、地盤の液状化評価等）に関する資料作成；説明期間 ▽ ① ▽ ② ▽ ☆；地震影響評価結果（周辺斜面の安定性評価、盛土構造の道路部の液状化評価）に関する資料作成；説明期間 ▽ ① ▽ ② ▽ ☆
19				SA 有効性評価（第37条） 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス選定	
20				地震PRA	土木構造物・建屋・機器フラジリティ解析、PRA評価；概略評価及び方針資料作成；説明期間 ▼ ① ▼ ②▼ ★；土木構造物・建屋・機器フラジリティ解析、PRA評価（再評価）；最終評価結果に関する資料作成 ▽；説明期間 ① ▽ ☆
21				津波PRA	敷地内浸水解析、PRA評価；概略評価及び方針資料作成；説明期間 ▼ ① ▼ ②▼ ★；最終評価結果に関する資料作成；説明期間 ▽ ① ▽ ☆
22				DB 火山灰層厚及び粒径の再評価結果の反映（第6条）	S ▼ 審査会合も含めた審査期間 ▼ ① E；火山灰による影響評価；資料作成 ▽ 説明期間 ☆ ① ▽
23				DB SA 防潮堤変更に伴うモニタリングポストへの影響（第31条/60条）	S ▼ 審査会合も含めた審査期間 ① ▼②1 ▼②2 ★ E
24				バックフィット案件[※1]	
25				火災感知器の設置要件の明確化に係る対応（第8条）	S ▼ 審査会合も含めた審査期間 ① ▼② ▼★ ▼① ▼② ▼ ★ E
26				有毒ガス防護対策（第26条，第34条，1.0）	S ▼ 審査会合も含めた審査期間 ▼ ①▼ ★ ▼ ① E ▼ ②
27				柏崎刈羽原子力発電所6号炉及び7号炉の新規制基準適合性審査を通じて得られた技術的知見の反映・原子炉制御室の居住性を確保するための対策（1.16/第59条）	S ▼ 審査会合も含めた審査期間 ▼ ① ▼ ★ E
28				柏崎刈羽原子力発電所6号炉及び7号炉の新規制基準適合性審査を通じて得られた技術的知見の反映・使用済燃料貯蔵槽から発生する水蒸気による悪影響を防止するための対策（想定事故1,2，1.11）	S ▼ 審査会合も含めた審査期間 ▼① ▼ ★ ▼ ① ▼ E ★
29				品管規則適用（品証（添付書類十一））	S ▼ 審査会合も含めた審査期間 ▼ ① ▼② ▼ E ★

集計結果：耐震設計方針／耐津波設計方針・取水性影響・燃料等輸送船・流路縮小工・逆流防止設備／防潮堤／DB/SA/BF（主要な説明項目と想定しているもの）

凡例
▽：資料提出(実績は黒色で塗りつぶし)
☆：審査会合希望時期(実績は黒色で塗りつぶし)
：審査期間(ヒアリング～審査会合) ヒアリングでの事実確認を踏まえた資料修正期間も含む
：検討期間
：資料作成期間
：タスクの関連線
：基準地震動に関する事項に係るクリティカルパス
：基準津波に関する事項に係るクリティカルパス
：火山影響評価に関する事項に係るクリティカルパス
：改訂前のスケジュールで示していた審査期間等
S：説明開始可能時期
E：説明終了目標時期
：審査会合も含めた審査期間
：改訂前のスケジュールで示していた「☆」または「E」からの変更状況

凡例
①：ヒアリング１回目実施時期
②：ヒアリング２回目実施時期
▽：資料提出時期
☆：審査会合時期

防潮堤の設計方針・構造成立性評価

ハザード側「新設防潮堤の形状・構造を踏まえた新設防潮堤を含む断面の評価結果（通しNo.19）」に係る事項以外の説明を早期に実施することに加え，ハザード側（通しNo.19）の確定を待たずに評価方針の説明を早期に行っており工程短縮に努めている。

地震PRA概略評価を踏まえたシーケンス選定について説明

津波PRA概略評価を踏まえたシーケンス選定について説明

地震PRA評価結果を踏まえたシーケンス選定について説明

津波PRA評価結果を踏まえたシーケンス選定について説明

先行プラントの設工認の審査状況を注視し、設置許可段階で説明する事項がないか確認を実施

「主要な説明項目と想定しているもの」のうち、審査会合時期を設定していない項目は、関連する条文の説明時期を踏まえて審査会合時期等のスケジュールを設定

ハザード側「敷地における降下火砕物の層厚評価（通しNo.15）」の確定を待たずに前提条件をおいて設計方針の説明を早期に行うことにより工程短縮に努める。

有毒ガスの審査時期は、関連条文の説明時期および他社審査中プラントの反映期間を踏まえて設定

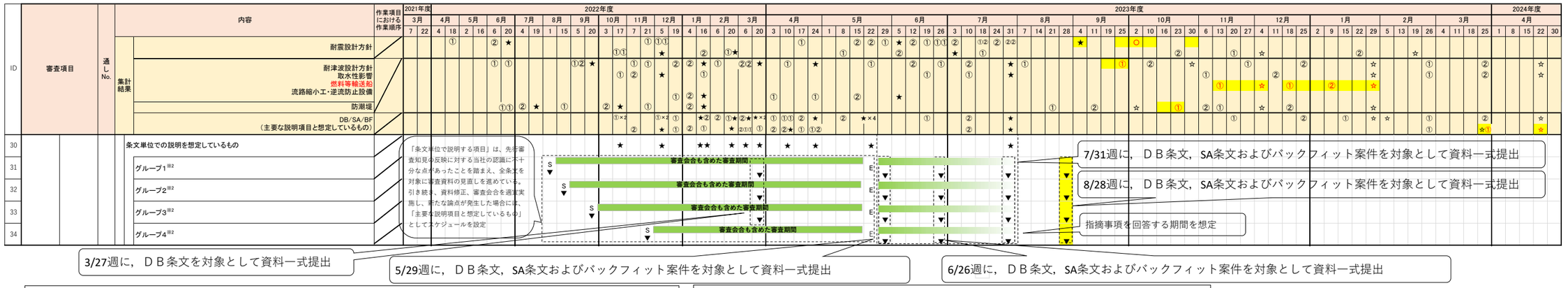
品質保証関連は、DB/SAの一通りの説明時期を踏まえて設定

※６
地震PRAについては，2023年7月にNo.3（基準地震動の年超過確率）において，地震ハザードの評価条件の見直しを行う見込みとなったため，再評価が必要となる見通しとなった。
評価には一定程度の期間を要するが，地震ハザードの評価完了次第，次工程の評価を先行実施することで全体的な工程短縮を図ることにより，2024年3月下旬には最終評価結果をご説明できる見通しである。

※３
津波PRAの詳細評価については，現時点で当社が想定している津波ハザードに基づき敷地内浸水解析を先行実施する。また，解析に係る要員の増強により全体的な工程短縮を図ってきたものの，2023年7月にNo.7（津波の組合せ評価）の説明期間の延長に伴い，No.11（基準津波の年超過確率）の説明時期もスライドすることとなり，これに連動して津波PRAの最終評価結果の説明は，2024年4月下旬まで要する見込みとなった。

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2023年9月11日
北海道電力株式会社



※1
■バックフィットに係る審査スケジュールは、プラント側の関連する審査項目の確認を踏まえたスケジュールとする。
■以下のバックフィット案件のスケジュールについては各条文のスケジュールの中に含む。
・「地震時の燃料被覆材の放射性物質の閉じ込め機能に係る措置（第4条)」については耐震設計方針
・「溢水による放射性物質を含んだ液体の管理区域外漏えい防止対策（第9条）」については内部溢水（第9条）
■なお、本スケジュールに記載のないバックフィット案件については、設工認等で説明予定。

※2【グループ１】

・不法な侵入（第7条）
・誤操作の防止（第10条）
・安全避難通路（第11条）
・安全施設（第12条）
・全交流電源喪失（第14条）
・RCPB（第17条）
・安全保護回路（第24条）
・保安電源（第33条）

※2【グループ２】

・［追而あり］外部事象（第6条）竜巻に対する設計方針
・［追而あり］外部事象（第6条）火山事象に対する設計方針（上記スケジュール記載部分を除く）
・［追而あり］外部事象（第6条）外部火災に対する設計方針
・［追而あり］外部事象（第6条）その他自然現象等に対する設計方針
・［追而あり］内部溢水（第9条）（上記スケジュール記載部分を除く）
・SFP（第16条）
・原子炉制御室（第26条）
・［追而あり］緊急時対策所（第34条）
・有効性評価（第37条）CV温度圧力
・有効性評価（第37条）炉心　２次冷却系からの除熱機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　全交流動力電源喪失
・有効性評価（第37条）炉心　原子炉補機冷却機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　原子炉格納容器の除熱機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　原子炉停止機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　ECCS注水機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　ECCS再循環機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損）
・有効性評価（第37条）CV　過圧破損
・有効性評価（第37条）CV　過温破損
・有効性評価（第37条）CV　DCH
・有効性評価（第37条）CV　FCI
・有効性評価（第37条）CV　水素燃焼
・有効性評価（第37条）CV　MCCI
・［追而あり］有効性評価（第37条）SFP　想定事故１
・［追而あり］有効性評価（第37条）SFP　想定事故２
・有効性評価（第37条）停止時　崩壊熱除去機能喪失
・有効性評価（第37条）停止時　全交流動力電源喪失
・有効性評価（第37条）停止時　原子炉冷却材の流出
・有効性評価（第37条）停止時　反応度誤投入
・共通（1.0.2（保管アクセス）以外）（第43条）
・ATWS（1.1/第44条）
・高圧時冷却（1.2/第45条）
・減圧（1.3/第46条）
・低圧時冷却（1.4/第47条）
・最終ヒートシンク（1.5/第48条）
・CV冷却（1.6/第49条）
・CV過圧破損防止（1.7/第50条）
・CV下部注水（1.8/第51条）
・CV水素対策（1.9/第52条）
・RB水素対策（1.10/第53条）
・SFP（1.11/第54条）
・放射性物質の拡散抑制（1.12/第55条）
・水源（1.13/第56条）
・［追而あり］電源（1.14/第57条）
・計装（1.15/第58条）
・原子炉制御室（1.16/第59条）
・［追而あり］緊急時対策所（1.18/第61条）

※2【グループ３】

・内部火災（第8条）
・監視設備（第31条)　（上記スケジュール記載部分を除く）
・通信連絡設備（第35条）
・火災（第41条）
・［追而あり］共通（1.0.2（保管アクセス）以外）（1.0）
・監視測定（1.17/第60条）
・通信連絡（1.19/第62条）
・技術的能力（添付書類五）

※2【グループ４】

・［追而あり］有効性評価（第37条）事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス選定（上記スケジュール記載部分を除く）
・［追而あり］大規模損壊（2.1）

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2023年9月11日
北海道電力株式会社

ID	内容		作業項目における作業順序
	集計結果	耐震設計方針	
		耐津波設計方針 取水性影響 燃料等輸送船 流路縮小工・逆流防止設備	
		防潮堤	
		DB/SA/BF （主要な説明項目と想定しているもの）	
		DB/SA （条文単位での説明を想定しているもの）	
1	耐震設計方針（第4条，第39条） ※第3条，第38条の設備の地盤への対処も含む		4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
2	【BF】地震時の燃料被覆管の放射性物質の閉じ込め機能の維持		4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
3	【BF】地震時の動的機能維持評価		4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
4	耐津波設計方針（第5条，第40条）		5条耐津波にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
5	防潮堤		5条耐津波にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
6-1	外部事象（第6条）	・竜巻に対する設計方針（a，b）	
6-2		・竜巻に対する別添，補足（c）	
7-1		・火山事象に対する設計方針（a，b）	
7-2		・火山事象に対する別添，補足（c）	
8		【BF】降下火砕物の影響評価	BFの対応は，「外部事象（第6条）_火山事象に対する設計方針」の審査に含めて説明する
9-1		・外部火災に対する設計方針（a，b）	
9-2		・外部火災に対する別添，補足（c）	
10-1		・その他自然現象等に対する設計方針（a，b）	
10-2		・その他自然現象等に対する別添，補足（c）	
11	不法な侵入（第7条）		
12-1	内部火災（第8条）（a，b）		
12-3	内部火災（第8条）（機器選定、区域・区画設定、発生防止、消火）		
12-4	内部火災（第8条）（感知、影響軽減対策、影響評価）		
13	DB 火災感知器の設置要件等に関する関係審査基準の改正		「内部火災（第8条）」の審査に含めて説明する
14-1	内部溢水（第9条）	a：防護対象の選定（基本方針、別添、補足を含む）	
14-2		b：基本方針（本文、添付八）	
14-3		c：別添、補足	
15	【BF】内部溢水による管理区域外への漏えいの防止		BFの対応は，「内部溢水（第9条）」の審査に含めて説明する
16	誤操作の防止（第10条）		
17	安全避難通路（第11条）		
18	安全施設（第12条）		
19	全交流電源喪失（第14条）		
20	SFP（第16条）		
21	RCPB（第17条）		
22	安全保護回路（第24条）		
23	原子炉制御室（第26条）		
24	監視設備（第31条）		
25	保安電源（第33条）		

2022年度：7月 4 11 19 25 ／ 8月 1 8 15 22 29 ／ 9月 5 12 20 26 ／ 10月 3 11 17 24 31 ／ 11月 7 14 21 28 ／ 12月 5 12 19 26 ／ 1月 4 10 16 23 30 ／ 2月 6 13 20 27 ／ 3月 6 13 20 27

2023年度：4月 3 10 17 24 ／ 5月 1 8 15 22 29 ／ 6月 5 12 19 26 ／ 7月 3 10 18 24 31 ／ 8月 7 14 21 28 ／ 9月 4 11 19 25 ／ 10月 2 10 16 23 30

凡例
①：ヒアリング１回目実施時期
②：ヒアリング２回目実施時期
▽：資料提出時期
☆：審査会合時期

黄色網掛け、青字は、前回説明時からの変更箇所を示す。

【第6条、8条、41条の補足】
a：防護対象の選定（基本方針、別添、補足を含む）
b：基本方針（本文、添付八）
c：別添、補足

3/27週に，ＤＢ条文、1.16/59条、1.17/60条、1.18/61条、1.19/62条を対象として資料一式提出するため，「▽」を記載している

5/29週に，ＤＢ条文、ＳＡ条文およびバックフィット案件を対象として資料一式提出するため，「▽」を記載している

6/26週に，ＤＢ条文、ＳＡ条文およびバックフィット案件を対象として資料一式提出するため，「▽」を記載

火山・外部火災・その他自然のパワーポイント資料

まとめ資料・比較表

火山灰層厚及び粒径の前提条件をおいて設計方針を説明

7/31週に，ＤＢ条文、ＳＡ条文およびバックフィット案件を対象として資料一式提出するため，「▽」を記載している

3/30審査会合指摘事項回答

8/28週に，ＤＢ条文、ＳＡ条文およびバックフィット案件を対象として資料一式提出するため，「▽」を記載している

パワポ2回目ヒアリング

6.8.9条 共通で実施

パワーポイント資料

まとめ資料・比較表

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2023年9月11日
北海道電力株式会社

ID	内容			作業項目における作業順序
	集計結果		耐震設計方針	
			耐津波設計方針 取水性影響 燃料等輸送船 流路縮小工・逆流防止設備	
			防潮堤	
			DB/SA/BF （主要な説明項目と想定しているもの）	
			DB/SA （条文単位での説明を想定しているもの）	
26	DB		緊急時対策所（第34条）	
27	DB		通信連絡設備（第35条）	
28	DB		【BF】有毒ガス	
29	SA	有効性評価（第37条）	PRA　Lv 1	
30	SA	有効性評価（第37条）	PRA　Lv 1.5	
31	SA	有効性評価（第37条）	PRA　停止時	
32	SA	有効性評価（第37条）	PRA　地震	
33	SA	有効性評価（第37条）	PRA　津波	
34	SA	有効性評価（第37条）	事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス	
35	SA	有効性評価（第37条）	基本的考え方（解析コード含む）	
36	SA	有効性評価（第37条）	CV温度圧力	
37	SA	有効性評価（第37条）	炉心　２次冷却系からの除熱機能喪失	
38	SA	有効性評価（第37条）	炉心　全交流動力電源喪失	
39	SA	有効性評価（第37条）	炉心　原子炉補機冷却機能喪失	
40	SA	有効性評価（第37条）	炉心　原子炉格納容器の除熱機能喪失	
41	SA	有効性評価（第37条）	炉心　原子炉停止機能喪失	
42	SA	有効性評価（第37条）	炉心　ECCS注水機能喪失	
43	SA	有効性評価（第37条）	炉心　ECCS再循環機能喪失	
44	SA	有効性評価（第37条）	炉心　格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損）	
45	SA	有効性評価（第37条）	CV　過圧破損	
45-1	SA	有効性評価（第37条）	CV　原子炉格納容器からの漏えいに関するエアロゾル粒子の捕集効果の設定について	
46	SA	有効性評価（第37条）	CV　過温破損	
47	SA	有効性評価（第37条）	CV　DCH	
48	SA	有効性評価（第37条）	CV　FCI	
49	SA	有効性評価（第37条）	CV　MCCI	
50	SA	有効性評価（第37条）	CV　水素燃焼	
51	SA	有効性評価（第37条）	SFP　想定事故１	
52	SA	有効性評価（第37条）	SFP　想定事故２	
53	SA	有効性評価（第37条）	停止時　崩壊熱除去機能喪失	
54	SA	有効性評価（第37条）	停止時　全交流動力電源喪失	
55	SA	有効性評価（第37条）	停止時　原子炉冷却材の流出	
56	SA	有効性評価（第37条）	停止時　反応度誤投入	

2022年度：7月 4 11 19 25 / 8月 1 8 15 22 29 / 9月 5 12 20 26 / 10月 3 11 17 24 31 / 11月 7 14 21 28 / 12月 5 12 19 26 / 1月 4 10 16 23 30 / 2月 6 13 20 27 / 3月 6 13 20 27

2023年度：4月 3 10 17 24 / 5月 1 8 15 22 29 / 6月 5 12 19 26 / 7月 3 10 18 24 31 / 8月 7 14 21 28 / 9月 4 11 19 25 / 10月 2 10 16 23 30

「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず

6._基本的考え方
7.5_要員資源
付録3_解析コード

審査項目は，「解析コード」

別紙１　有効性評価の事故シーケンスグループ等の選定に際しての外部事象の考慮について説明

付録3_解析コード

12/6の審査会合における指摘事項⑱について回答

補足説明資料
付録3_解析コード

12/6の審査会合における指摘事項⑲について回答

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2023年9月11日
北海道電力株式会社

ID		内容			作業項目における作業順序
	集計結果	耐震設計方針			
	集計結果	耐津波設計方針 取水性影響 燃料等輸送船 流路縮小工・逆流防止設備			
	集計結果	防潮堤			
	集計結果	DB/SA/BF （主要な説明項目と想定しているもの）			
	集計結果	DB/SA （条文単位での説明を想定しているもの）			
57-1	SA設備・技術的能力	1.0	43条	共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【1.0】①	
57-2	SA設備・技術的能力	1.0	43条	共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【1.0】②	
57-3	SA設備・技術的能力	1.0	43条	共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【1.0】③	
58	SA設備・技術的能力	1.0	43条	共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【43条】	
58-1	SA設備・技術的能力	1.0	43条	添付資料【43条】	
59	SA設備・技術的能力	1.0	43条	共通（1.0.2（保管アクセス））【1.0/43条】	
60	SA設備・技術的能力	1.1	44条	ATWS	
60-1	SA設備・技術的能力	1.1	44条	添付資料【1.1】	
60-2	SA設備・技術的能力	1.1	44条	添付資料【44条】	
61	SA設備・技術的能力	1.2	45条	高圧時冷却	
61-1	SA設備・技術的能力	1.2	45条	添付資料【1.2】	
61-2	SA設備・技術的能力	1.2	45条	添付資料【45条】	
62	SA設備・技術的能力	1.3	46条	減圧	
62-1	SA設備・技術的能力	1.3	46条	添付資料【1.3】	
62-2	SA設備・技術的能力	1.3	46条	添付資料【46条】	
63	SA設備・技術的能力	1.4	47条	低圧時冷却	
63-1	SA設備・技術的能力	1.4	47条	添付資料【1.4】	
63-2	SA設備・技術的能力	1.4	47条	添付資料【47条】	
64	SA設備・技術的能力	1.5	48条	最終ヒートシンク	
64-1	SA設備・技術的能力	1.5	48条	添付資料【1.5】	
64-2	SA設備・技術的能力	1.5	48条	添付資料【48条】	
65	SA設備・技術的能力	1.6	49条	CV冷却	
65-1	SA設備・技術的能力	1.6	49条	添付資料【1.6】	
65-2	SA設備・技術的能力	1.6	49条	添付資料【49条】	
66	SA設備・技術的能力	1.7	50条	CV過圧破損防止	
66-1	SA設備・技術的能力	1.7	50条	添付資料【1.7】	
66-2	SA設備・技術的能力	1.7	50条	添付資料【50条】	
67	SA設備・技術的能力	【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(過圧破損)			
68	SA設備・技術的能力	1.8	51条	CV下部注水	
68-1	SA設備・技術的能力	1.8	51条	添付資料【1.8】	
68-2	SA設備・技術的能力	1.8	51条	添付資料【51条】	
69	SA設備・技術的能力	1.9	52条	CV水素対策	
69-1	SA設備・技術的能力	1.9	52条	添付資料【1.9】	
69-2	SA設備・技術的能力	1.9	52条	添付資料【52条】	

2022年度：7月 4 11 19 25 / 8月 1 8 15 22 29 / 9月 5 12 20 26 / 10月 3 11 17 24 31 / 11月 7 14 21 28 / 12月 5 12 19 26 / 1月 4 10 16 23 30 / 2月 6 13 20 27 / 3月 6 13 20 27

2023年度：4月 3 10 17 24 / 5月 1 8 15 22 29 / 6月 5 12 19 26 / 7月 3 10 18 24 31 / 8月 7 14 21 28 / 9月 4 11 19 25 / 10月 2 10 16 23 30

「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず

①本文及び添付1.0.10(有毒ガス審査前提のSA体制）の資料を提出

②本文，第１表，第２表，添付1.0.7,添付1.0.10,添付1.0.14及び添付1.0.16を除くすべての資料を提出

③第１表，第２表，添付1.0.7,添付1.0.14及び添付1.0.16の資料を提出(ヒアコメント反映版とともに)

添付資料1.0.6にて、1.13でのコメント回答

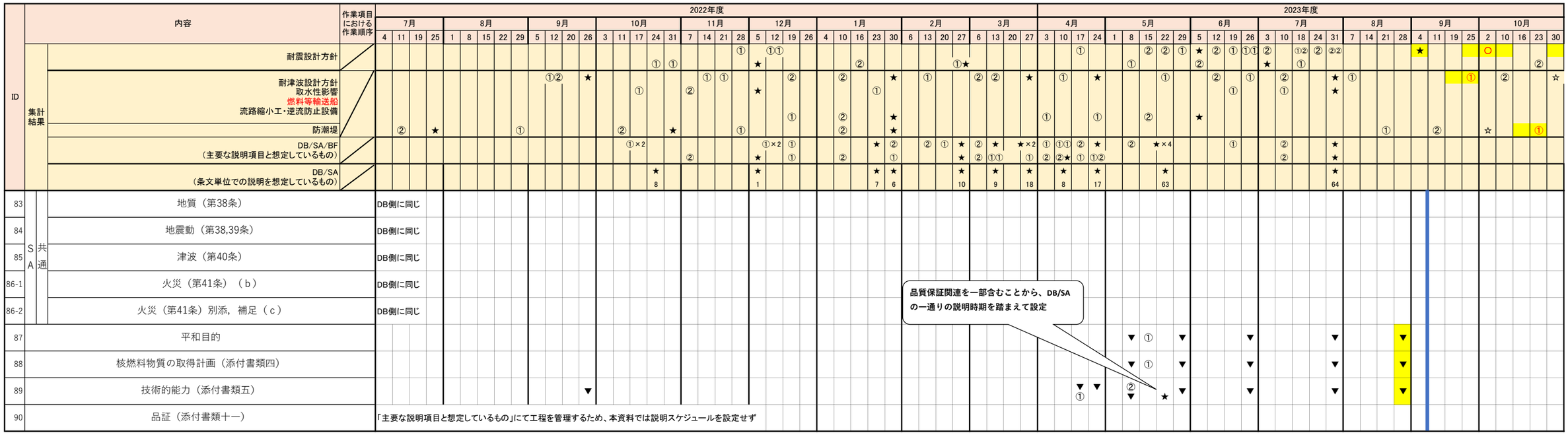
【SA設備・技術的能力（ID57～ID76）の補足】
(1) 本文と本文の図表のみ（添付資料は除く）を対象としてヒアリングを設定した。
(2)添付資料（補足資料も含む）は、各条の整合を確認した上で，次の予定で提出した。
■SA設備について，ヒアリングにて説明が必要な資料は適宜提出し，5月上旬までに全ての資料を提出した。
■SA技術的能力について，３月中旬より可能なものから適宜提出し，4月下旬までに全ての資料を提出した。
■添付資料提出後にヒアリングを設定した。

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2023年9月11日
北海道電力株式会社

ID	内容				作業項目における作業順序
	集計結果			耐震設計方針	
				耐津波設計方針 取水性影響 燃料等輸送船 流路縮小工・逆流防止設備	
				防潮堤	
				DB/SA/BF （主要な説明項目と想定しているもの）	
				DB/SA （条文単位での説明を想定しているもの）	
70	SA	設備・技術的能力		RB水素対策	
70-1			1.10 53条	添付資料【1.10】	
70-2				添付資料【53条】	
71				SFP	
71-1			1.11 54条	添付資料【1.11】	
71-2				添付資料【54条】	
72				【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(SFP蒸気影響)	「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず
73				放射性物質の拡散抑制	
73-1			1.12 55条	添付資料【1.12】	
73-2				添付資料【55条】	
74				水源	
74-1			1.13 56条	添付資料【1.13】	
74-2				添付資料【56条】	
75				電源	
75-1			1.14 57条	添付資料【1.14】	
75-2				添付資料【57条】	
76				計装	
76-1			1.15 58条	添付資料【1.15】	
76-2				添付資料【58条】	
77				原子炉制御室	
77-1			1.16 59条	添付資料【1.16】	
77-2				添付資料【59条】	
78				【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(MCR居住性)	「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず
79				監視測定	
79-1			1.17 60条	添付資料【1.17】	
79-2				添付資料【60条】	
80				緊急時対策所	
80-1			1.18 61条	添付資料【1.18】	
80-2				添付資料【61条】	
81				通信連絡	
81-1			1.19 62条	添付資料【1.19】	
81-2				添付資料【62条】	
82			2.1 ー	大規模損壊	

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2023年9月11日
北海道電力株式会社

ID	内容			作業項目における作業順序
	集計結果		耐震設計方針	
			耐津波設計方針 取水性影響 燃料等輸送船 流路縮小工・逆流防止設備	
			防潮堤	
			DB/SA/BF （主要な説明項目と想定しているもの）	
			DB/SA （条文単位での説明を想定しているもの）	
83	SA	共通	地質（第38条）	DB側に同じ
84	SA	共通	地震動（第38,39条）	DB側に同じ
85	SA	共通	津波（第40条）	DB側に同じ
86-1	SA	共通	火災（第41条）（ｂ）	DB側に同じ
86-2	SA	共通	火災（第41条）別添，補足（ｃ）	DB側に同じ
87			平和目的	
88			核燃料物質の取得計画（添付書類四）	
89			技術的能力（添付書類五）	
90			品証（添付書類十一）	「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず